

緑が丘

—「自分できめる」「みんなと決める」—
～今日も「学校が楽しかった」～

令和7年 4月 30日発行 三木市立緑が丘小学校



学校ってなんだろう ～みんなを元気にする「あたりまえ」～

木々の葉がまぶしく輝く新緑の季節到来。

桜が、花から葉桜、青葉若葉へと姿を変えたように、子どもたちの顔にも変化が見られます。確かな時の流れを感じます。

- 1 年生は、すっかり小学生の顔に。
- 2 年生は、ちょっとお兄ちゃんお姉ちゃん顔に。
- 3 年生は、習字や理科、社会等新しい学習を楽しむ顔に。
- 4 年生は、新たな先生、友だちと人間関係構築中。
- 5 年生は、高学年の自覚も新たに仲間と新天地と関係開拓中。
- 6 年生は、最高学年の思いをもって学校創りに奮闘中。

25日(金)に実施した1年生を迎える会では、緊張気味の1年生の手を優しく握って、時には自ら弾む姿を見せて関わる6年生の姿を嬉しく思いました。また、それぞれの学年らしいプレゼント、クイズ等、会場が温かな雰囲気になりました。最後に50名の1年生の「ドキドキドン1年生」の歌声が体育館いっぱいに響きわたり、それを見つめている2～6年生の間に確かな関係ができたようでした。これで1年生も、すっかり「みどりっこ」。その小さな手のぬくもりには魔法の力があるようです。

さて、1学期始業式に「学校ってなんだろう？」と、全校生並びに先生方に問いかけ考えるとともに、周りを元気にする2つの「あ」とみんなを元気にする「あたりまえ」の話をしました。

2つの「あ」は、これまで繰り返し伝え続けている「あいさつ」と「ありがとう」です。

みんなを元気にする「あたりまえ」とは



- ① **あ**きらめない ➔ 挑戦すること できるまで続けること
- ② **だ**めなことはだめという人に ➔ 自分の言葉に責任を
- ③ **り**ょうしん(良心) ➔ ごまかさない ごめんなさい
- ④ **ま**なびつづける ➔ 学習を大切に
- ⑤ **え**がおいっぱい



簡単なようで難しい「あたりまえ」。少しでも全員が意識できれば学校が一步前に進みます。

みんながいるからこそ学校。みんなが気持ちよく過ごさせてこそ学校。そのために自分は何がができるか、みんなと何ができるか考えてほしいと思います。逆もまた然りで、「行動を変えれば言葉が変わり、言葉が変われば意識も変わる」のではないのでしょうか。

連休を明けると、運動会の学習が始まります。掲載詩の「あたらしい『きょう』」「あたらしい『わたし』」の積み重ねになる5月。子どもたちへの応援をよろしく願いいたします。 (校長 佐野 順子)

うまれたて
あげはゆりこ

おひさまの あいずで
めをさました
さなぎの ゆりかごから
とびだし
ゆっくり はねを のばしました
(いまだ！)

わたしは かぜのふねに
のりました
だいすきな だれかに
であうために

.....

あたらしい「きょう」です
あたらしい「わたし」です！



くどうなおこのはらうたより